

平成 25 年 7 月 31 日 8:00 現在  
中国地方整備局 災害対策本部

平成 25 年 7 月 28 日 豪雨による中国地方整備局管内の体制及び災害状況等

#### 1. 本部体制

- ・平成 25 年 7 月 28 日 9 時 10 分  
災害対策本部（風水害）を設置。注意体制。
- ・平成 25 年 7 月 28 日 11 時 05 分  
災害対策本部内に支援連絡室を設置。
- ・平成 25 年 7 月 28 日 12 時 20 分  
警戒体制に移行。
- ・各班の状況  
河川班は 7 月 28 日 9 時 10 分に注意体制を発令し、以降継続中。  
道路班は 7 月 28 日 10 時 28 分に注意体制を発令、13 時 25 分に警戒体制に移行し、以降継続中。

#### 2. 中国管内での気象警報・注意報発令状況

- 島根県
  - ・警報発令なし
- 広島県
  - ・警報発令なし

#### 3. 中国地方整備局管内各事務所、ダム管理所の防災体制状況

- 広島県
  - ・中国技術事務所 警戒体制 7 月 28 日 12 時 20 分発令 本部警戒体制に伴う。
- 山口県
  - ・山口河川国道事務所（道路） 警戒体制 7 月 28 日 10 時 20 分発令 管内国道で全面通行止め。

#### 4. リエゾン派遣状況 7 月 31 日

- 島根県
  - ・益田土木へ 浜田河川国道事務所より 2 名派遣（29 日まで）
  - ・島根県庁へ 松江国道事務所より 1 名派遣（29 日まで）
  - ・津和野町へ 総務部 1 名、河川部 1 名派遣

●山口県

- ・山口県庁へ 山口河川国道事務所より 2名派遣 (30日まで)
- ・萩市へ 山口河川国道事務所より 2名派遣
- ・山口市 山口河川国道事務所より 2名派遣

5. 中国地方整備局管内各被災状況

●直轄河川

- ・高津川（神田） 28日11時40分に避難判断水位（5.00）を超過。  
ピーク水位 5.45m。
- ・白上川（内田） 28日13時40分に避難判断水位（3.90）を超過。  
ピーク水位 4.11m。
- ・高津川水系白上川南田川水門 排水ポンプ車（30m<sup>3</sup>/min）1台で15:00作業開始。18:10に休止。21:15帰還格納。
- ・各河川での巡視の結果、異常なし。

●直轄国道

- ・国道9号徳佐（547.4～549.0km）路面冠水により28日10時20分に通行止め。28日19時07分に開放。
- ・国道9号益田市神田町三星地内～津和野町日原地内で規制雨量に達したため通行止め。28日18時00分に開放。
- ・国道9号山口市阿東地福上箇所にて路肩崩壊のため、29日12時00分から通行止め。13時30分に片側通行。

30日 20:00～翌 5:30 路肩崩落部の大型土のう 120/120 袋設置完了。

31日 8:00～

路肩崩落部のブルーシート設置及び大型土のう製作開始。

- ・国道191号（127.0～143.0km）で冠水、土砂崩落により通行止め。28日11:40～

被災状況は道路冠水4箇所、トンネル冠水2箇所、土砂崩落9箇所、道路崩落1箇所、倒木1箇所、放置車両19台。

国道191号道路啓開作業のため、16時30分に山口照明車2台を萩国道出張所へ、20時00分に浜田照明車1台を萩市須佐地内へ派遣指示し、浜田照明車は29日2時00分に帰還。

29日5時30分の状況は、通行止め区間130.0～135.0k。道路崩落1箇所、土砂崩落2箇所。その他箇所については、道路啓開（1車線確保）または復旧済み。16時00分現在で放置車両0台。30日8時00分応急復旧開始。

31日 8:00 昨日に引き続き伐採、水路内土砂撤去実施。

●直轄港湾

- ・被害無し。

● TEC-FORCE 派遣等 29 日～

中国地方整備局より

- ・ヘリコプター上空調査

総括、河川、砂防、道路担当の計 7 名、島根県 1 名、山口県 2 名搭乗。

あいらんど号、きんき号による状況調査

29 日 調査後、2 機は広島ヘリポートで駐機。

30 日 10:30 あいらんど号出動。広島ヘリポート出発（企画、河川、道路担当 4 名）。15:25 広島ヘリポート帰還。

31 日 整備局、島根県の砂防担当による上空調査を予定。

- ・ TEC-FORCE 被災状況調査班

【中国地方整備局】

指令班（2 班）、河川班、砂防班、道路班、広報班の計 6 班 23 名派遣

29 日 8:00 本局災害対策室集合（防災課より説明、出動準備）

9:00 出発式

11:40 砂防班、広報班 山口国道維持（出）着。情報収集。

11:50 指令班① 山口県庁着 調査箇所棟調整。

11:50 道路班 萩国道（出）着。国道 315 号道路被災状況確認。

12:20 河川班 山口国道維持（出）着。情報収集。

12:25 指令班② 島根県益田県土整備事務所着。調査箇所等調整。

15:50 指令班①、萩市から道路調査の依頼あり。各班と分担調整。

30 日 河川班、砂防班、道路班は萩市の須佐地区の被災状況調査を実施中。

指令班①、②については、引き続き各県、市、地整 TEC-FORCE との調整を実施。

河川班：10:00 萩市須佐総合事務所で打合せ後、調査開始。被災延長は 5 km 程度。

砂防班：10:00 萩市須佐地区弥富箇所を調査するが、土石流の発生は見られない。→河川の被災状況調査を実施

道路班：8:30 出張所集合。県より敷地調査結果内容を県より入手し、10:25 から国道 315 号を調査実施。応急復旧方法検討、概算額算出

指令班①：17:00 から津和野町で支援内容打合について町建設課、リエゾン、近畿 TEC 指令班と打合せを行う。

31日 河川班（2班）

8：00から萩市須佐地区の河川被災状況調査を実施。

道路班

県道宇田須佐線の啓開状況調査実施

国道315号概算額算出作業

【近畿地方整備局】

・TEC-FORCE 被災状況調査班、応急対策班等

6班 全23名。照明車5台、対策本部車1台

29日 11：00 中国道安富PAに集合。

17：00 島根県益田県土整備事務所に到着。災害対策会議参加。

30日 9：30 高津川の直轄境から本川上流へ向け、被災状況調査に着手（5班体制）。

31日 指揮班・津和野町役場日原第2庁舎において、現地調査に入る前の調整を行う（調査箇所確認・台帳・図面等の受け取り）

8：50 津和野土木事業所に集合し、昨日の調査進捗状況等について打合せ・打ち合わせ終了後

河川2班は高津川での残調査を実施

その他4班（道路1,2,3班、河川1班（砂防班含む））

は津和野町役場日原第二庁舎に集合し、打ち合わせ後、現地調査に着手

【九州地方整備局】

・TEC-FORCE 被災状況調査班、応急対策班等

9班 全36名。照明車2台。排水ポンプ車2台、待機支援車1台

29日 10：35 九州本局発。

13：15 山口河川国道へ到着。

排水ポンプ車2台、待機支援車1台は防府国道維持（出）へ移動。照明車1台は萩国道（出）へ。照明車1台山口国道維持（出）へ。

20：30 衛星通信車1台を萩市須佐箇所で稼働開始。継続稼働中。

20：15 照明車1台を山口市阿東町に派遣し23：05まで稼働。

30日 9:00 萩市の田万川地区等の被災状況調査実施予定。  
県道332号、県道14号、萩市田万川支所の周辺と大きくは3箇所では活動開始。

- 31日 ・河川班②：県道14号 高岩橋の仮復旧工法の検討、成果品引き渡し予定
- ・道路班②：県道332号 十種ヶ峰の復旧工法の検討、成果品引き渡し予定
- ・河川班①、道路班①③、砂防班：萩市田万川総合事務所 管内の被災箇所調査を 継続
- ・情報通信班：国道191号 萩市須佐で衛星通信車稼働を継続

#### 【四国地方整備局】

- ・TEC-FORCE 被災状況調査班、応急対策班等派  
5班 全25名。

29日 14:00 四国本局発。

17:25 中国地方整備局到着。本部にて打合せ。

30日 7:00 山口県庁、萩市むつみ総合事務所、同市須佐総合事務所  
へ向け出発。

9:15～ 県庁で打合せ。各出先事務所で打合せ。

10:40 道路班調査開始。特に道路班は、(県より早く応急復旧をまとめてほしいとの要望を受けており、)日没間近まで  
しっかり、現地調査を行うとのこと。

11:15 河川班、砂防班調査開始。

- 31日 萩市むつみ地区 現地調査及び資料整理 (災害概要調査)
- 萩市須佐地区 現地調査及び資料整理 (災害概要調査)
- 萩市むつみ地区 現地調査及び資料整理 (災害概要調査)
- 広報班：現地調査班に随行
- 総合指令班：山口県庁にてTEC支援・ロジ活動

